



かがやく浜の子

令和8年度7月号④

令和8年度 重点目標 「自分から チャレンジ」

【文責 校長】

「子供が主体的に学びこめる授業づくり」にチャレンジ！

今年度の重点目標「自分からチャレンジ」の目指す子供の姿は、「主体性・挑戦・認め合い」です。これに向けて、第2ステージの「学び」では、第1ステージで築き上げた「温かな学級風土」を土台に、「子供が主体的に学びこめる授業づくり」に力をいれています。

私が子供の頃の「昭和の授業」では、先生が黒板の前に立ち、教科書の内容を一齐に「教え込む」スタイルが主流で、子供たちはたくさんの知識を覚えることが求められました。

しかし、社会が激しく変化する「今の授業」に求められるものは大きく異なります。インターネットを開けばすぐに正解が見つかる時代です。与えられた知識を覚えるのではなく、「自分で問いを見つける力」「手に入れた知識を活用して課題を解決する力」「友達と意見を出し合い、納得できる解決策を創り出す力」などが必要になってきます。

これまでの授業が「先生の案内についていく観光ツアー」なのに対して、今の授業は「自分たちで行き先を決めて進む冒険旅行」です。つまり、現在の授業は、「子供が主役の授業」であり、これは、本校で進めている「子供が主体的に学びこめる授業」と同じものです。

「わかる!」「楽しい」はもちろんのこと、子供たちが「もっとやりたい!」と夢中になって「学びこむ」授業を目指して、教師が「教える人」だけでなく、子供たちの思考を引き出す「伴走者」としての役割ができるように、日々、職員も学んでいます。



先日、ある保護者の方と話をしているときに、

「うちの子が、『今日は神授業の日だと』言っていたんですよ。教科を聞いて、なるほどと思いました。『図工、体育、はばたき』でした。」という話を聞きました。

確かに、子供にとって実技教科は、魅力的な要素が多く、「楽しい神授業」なのかもしれません。しかし、もっと多くの授業時間を学ぶ他教科だって、子供にとって魅力的なやってみたい学習になれば「神授業」になるのでは。

子供たちに「今日は、国語・算数・理科・社会・英語だから、神授業の日だ!」と言わせられるように、教職員みんなで「子供が主体的に学びこめる授業づくり」をさらに進めていきます。御家庭でも、「今日の授業で何を学んだのか?何がわかったのか?何が楽しかったのか?」ぜひ、聞いてみてください。

★引き続き募集しています★

見守る	○登下校の安全パトロール ○あいさつ運動（スクラムグッドマナーは毎月１０日です） ○プールの見守り ・プールサイドで子供の様子を見ていただければ OK ・お子さんの授業の時だけでも OK ○昼休みの見守り ・グラウンドを散歩しながら子供たちの様子を見るのでも OK ・一緒に遊ぶ（剣玉・折り紙・将棋・囲碁） ・子供の話し相手になる
手伝う	○畑の畝づくり・畑の整備 ○花壇の整備 ○運動場や校舎周りの草取り ○図書室の本の整理 ○給食ワゴンの運搬 ・配膳室から教室前へ（１１：３０ ごろ） ・教室前から配膳室へ（１２：３０ ごろ） ○計算カード（足し算・引き算・掛け算）のチェック ○図工・毛筆・家庭科サポート（準備・片付け）
教える	○絵本の読み聞かせ ○楽器の演奏 ○家庭科のミシンを使った学習支援 ○図工（木工作）学習支援 ○昔の遊び ○ゲストティーチャー（地域や仕事の話）

「これならできそう！」というものがありましたら、以下の QR コードから「アンケートフォーム」に入力、又は、電話（担当：教頭 0548-63-2177）で学校にご連絡ください。

★まずは 1 回、学校に気軽に足を運んでください！



<https://forms.gle/Ta1AodDwoMTESrM58>

